

## 第29回 JACR 学術集会 開催報告

大木 いずみ JACR副理事長

栃木県立がんセンター



2020年6月4日(木)から6月14日(日)まで、日本がん登録協議会第29回学術集会をWebにて開催しました。また、がん登録担当者研修会も同様にオンデマンド配信により実施しました。

がん登録等の推進に関する法律のもと罹患数・罹患率が公表され、枠組みとシステムによる標準化が整い、これからは精度の高いデータを蓄積してがん対策や医療に還元する事が求められます。テーマを「がん登録からがん対策への期待」として、このようなタイミングで学会を開催する機会をいただけたことをたいへん感謝しています。

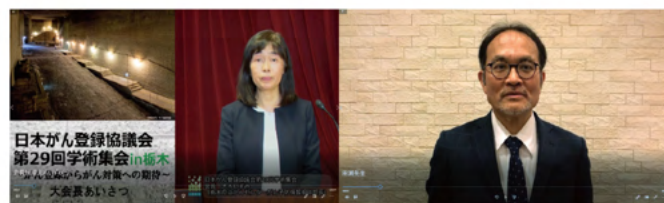
しかし、2020年の2月ごろから新型コロナウイルス感染拡大により、多くの学会が延期・中止を余儀なくされました。本学会は開催の2年前から耐震工事が終了するのを待って準備万端、栃木県にお迎えし情報交流することを楽しみにしておりましたが、結果的に直接意見交換する事ができなくなりました。先が全く予想できない中で、初めてのWeb開催に踏み切りました。研修会は講師にコンテンツ作成をお願いしました。また、企画していた「がん登録研修会の現状とあるべき姿」をテーマとしたセッション1はライブ配信しました。➤



ライブ配信による学会風景

座長・演者、参加者の皆様のおかげで(最大瞬間参加者150名近くを記録)無事実施することができました。その後の勢いで急遽5日(金)にはWeb上でミニ懇親会も行いました。

基調講演とシンポジウム・セッションは趣旨や目的の説明を座長にお願いし、それぞれの演者からコンテンツを公開いただきました。また、令和2年度学術奨励賞、藤本伊三郎賞、がん登録実務功労者も選出されました。学術奨励賞・藤本伊三郎賞受賞者にはコンテンツ作成を依頼し受賞講演を発表いただきました。セッションは、JACRならではの組織力を使って、研修会の実情や情報提供などの実態を調査し、結果を共有することができました。本学会では最終的に、236名の参加と、54演題の発表がよせられました。研究発表と活動報告からそれぞれ、最優秀賞、優秀賞が選ばれました。



会長挨拶

次期会長挨拶

座長をはじめ演者の方々、すべての参加者の皆様には急な開催方法変更によりたいへんご負担をおかけしましたが、皆様のお力で学会を開催できたことを心から感謝いたします。

学会をお引き受けする事自体も初めてですが、Webで行うことも経験がなく、課題もたくさんありましたが、一方で「繰り返しコンテンツを視聴できる」「遠方でも参加できる」「時間を調整できる」などのプラス面も参加者アンケートからわかってきました。

次回の学会は、東京都(Web開催)が決まっています。1日も早い新型コロナウイルス感染の収束とともに、東京大会の成功を心よりお祈りしています。